

編集後記

DARPA（米国国防総省高等研究計画局）に倣って、我が国でもImPACT（革新的研究開発推進プログラム）が動き出しました。DARPAはインターネットやGPS等の多数の革新的技術を生み出し、今、話題の市街地自動運転技術もDARPAの2007 Urban Challengeで生まれたものです。更に福島原発事故にロボットが満足に対応できなかった反省から、Robotics Challengeが企画され、その予選が昨年暮れに催され、東大からスピンアウトした我が国のベンチャー企業SCHAFTが1位通過を果たしています。そして、そのSCHAFTやBoston Dynamics等をGoogleが買収するという驚きの報道もありました。本選での更なる進化が楽しみです。

内閣府は、ハイリスク・ハイインパクトな研究に挑戦できるImPACTをSIP（戦略的イノベーション創造プログラム）と共に科学技術政策の柱としてこれから押し進めるようです。

このような状況下で、本特集号の「次世代社会インフラ用ロボット開発・導入に向けて」は、関連する産学官の動きを国交省の視座から展望しています。

その中で触れている「建設ロボット技術に関する懇談会」座長の油田教授には巻頭言をお願いし、情報化施工推進会議委員長の建山教授に情報化施工について、COCN（産業競争力懇談会）のプロジェクトリーダーだった浅間教授には、災害対応ロボットについて概観して頂き、Disaster City（米国災害模擬現場）をモデルとした「災害対応ロボットセンター構想」にも触れて頂きました。

今話題のCIMについては、国交省の取組みを紹介して頂き、情報化では施工会社3社の事例紹介とメーカーや機器ベンダの新技术情報を、その他に無人化施工で2件、ロボット化とICT技術で2件を取上げています。

交流の広場では、2050年までにサッカーW杯制覇を目指すロボカップ活動の近況を紹介頂きました。また、前記の流れの中で「異分野技術者との交流会」がJCMA等の共催で発足していますが、そんな交流会の元祖的な場が「ずいそう」で紹介する「都市小屋集」です。

最後になりましたが、ご多忙中にもかかわらず、快くご執筆を引き受けて下さいました皆様様に心より感謝を申し上げます。

（久保・岡本）

5月号「鉄道特集」予告

- ・鉄道の海外展開
- ・鉄軌道駅のバリアフリー化に関する国の取り組み
- ・東京メトロ東西線・パレスホテル東京 地下通路
- ・近鉄京都駅ホーム増設とホテル建設工事
- ・新幹線鉄道トンネルの耐震対策急速施工技術及びシステムの開発
- ・列車運行時間帯における営業線に近接した大口径場所打ち杭の施工
- ・減災、建設・維持管理費用低減を目指した新橋梁形式
- ・京王線調布布田駅付近連続立体交差シールド工事
- ・豊肥本線 坂の上トンネル災害復旧
- ・阪急電鉄今津線と都市計画道路荒地西山線の立体交差工事
- ・台湾初のDOT工法による鉄道シールドトンネル工事
- ・シンガポール地下鉄トンネル工事における圧気作業
- ・工所用軽便軌条の歴史

機関誌編集委員会

編集顧問

今岡 亮司	加納研之助
後藤 勇	佐野 正道
新開 節治	関 克己
高田 邦彦	田中 康之
塚原 重美	中岡 智信
中島 英輔	橋元 和男
本田 宜史	渡邊 和夫

編集委員長

田中 康順	鹿島道路(株)
-------	---------

編集委員

吉田 潔	国土交通省
持山 昌知	農林水産省
伊藤 健一	(独)鉄道・運輸機構
篠原 望	鹿島建設(株)
立石 洋二	大成建設(株)
藤吉 卓也	清水建設(株)
赤井 亮太	(株)大林組
久保 隆道	(株)竹中工務店
安川 良博	(株)熊谷組
川西 健之	(株)奥村組
京免 継彦	佐藤工業(株)
岡田 英明	五洋建設(株)
齋藤 琢	東亜建設工業(株)
赤神 元英	日本国土開発(株)
相田 尚	(株)NIPPO
岡本 直樹	山崎建設(株)
原 茂宏	コマツ
山本 茂太	キャタピラー・ジャパン(株)
船原三佐夫	日立建機(株)
原口 宏	コベルコ建機(株)
石倉 武久	住友建機(株)
和田 一知	(株)KCM
江本 平	範多機械(株)
藤島 崇	施工技術総合研究所

事務局

日本建設機械施工協会

建設機械施工

Journal of JCMA

第66巻第4号（2014年4月号）（通巻770号）

Vol. 66 No. 4 April 2014

2014（平成26）年4月20日印刷

2014（平成26）年4月25日発行（毎月1回25日発行）

編集兼発行人 辻 靖三

印刷所 日本印刷株式会社

発行所 一般社団法人 日本建設機械施工協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501 Fax (03) 3432-0289 http://www.jcmanet.or.jp/

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支	部〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-8	電話 (011) 231-4428
東北支	部〒980-0802 仙台市青葉区二丁目16-1	電話 (022) 222-3915
北陸支	部〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1	電話 (025) 280-0128
中部支	部〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-17-10	電話 (052) 962-2394
関西支	部〒540-0012 大阪市中央区谷町2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支	部〒730-0013 広島市中区八丁堀12-22	電話 (082) 221-6841
四国支	部〒760-0066 高松市福岡町3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支	部〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-4-30	電話 (092) 436-3322

本誌上への
広告は



有限会社 サンタナ アートワークスまでお申し込み、お問い合わせ下さい。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-21-5 井手口ビル4F TEL: 03-3664-0118 FAX: 03-3664-0138

E-mail: san-mich@zam.att.ne.jp 担当: 田中